

サステナビリティ説明会 質疑応答要旨（報道機関）

日時	： 2024年12月16日（月） 13:00～14:10
場所	： 三菱電機株式会社 本社（オンライン説明会）
当社出席者	： 常務執行役 CHRO 阿部 恵成 上席執行役員 サステナビリティ・イノベーション本部長 小黒 誠司

- Q. 「DX イノベーション アカデミー」について、4つの認定（ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナ）はどのくらいの期間で取得可能なのか。認定を取得するとどのようなことができるようになるのか。
- A. 本アカデミーは、DX 人財の7つのスキルセット別にパッケージ化した学習コースを通じて、体系的に人財育成を行うもの。各レベルの認定取得に要する期間については、約半年～1年程度かかる想定で設計していく予定。
- Q. 産学連携における早稲田大学との連携について、具体的にどのような取り組みを始めるのか。
- A. 同大学では、全学部の学生向けにDX教育を実施するなど、充実したDX教育の環境を整備されている。さらにリカレント教育という観点においても、同大学では各企業に対しDX関連講座の開発、提供を行っており、これらを当社向けに開発・アレンジをした上で提供してもらえないかという交渉などを進めている。また、相互の人財交流を目的とした、研究会、講演会、インターンシップなどを実施することで、お互いにWin-Winな連携関係を構築していきたいと考えている。
- Q. 今後の人的資本への投資拡大についてはどのように考えているか。現在の中期経営計画では23～25年度目標として約200億円を掲げているが、今後の計画は。
- A. 3年間で約200億円という大きな枠で設定していたが、本日発表した「DX イノベーション アカデミー」の開設など、当初想定していなかった投資アイテムも入ってきている。現時点の実績はほぼ計画どおりに進捗しているが、今後も人的資本への投資は拡大していくと予想するため、25年度より先の投資枠は現在と同等ないしそれ以上のものが必要になると想定している。具体的には次期中期経営計画策定の中で詰めていきたい。
- Q. 「DX イノベーション アカデミー」を通じてスキルを獲得した人財に対する賃上げやインセンティブはどのように実施するのか。
- A. レベル認定が上がるほど、事業に貢献する余地は当然大きくなるため、事業や業務にどれだけ活用可能か、またそのスキルを業務で発揮した実績を重視した評価を基に、適切なインセンティブを付与できるよう、今後設計していきたい。
- Q. インセンティブはどのくらいになるのか。賃上げとして何%、月何円などの指標はあるか。
- A. まだそこまで具体的に決まったものはない。賃上げと直接リンクさせるという考えはないが、従業員に体感してもらえるレベルでのインセンティブのあり方を考えなくてはならない。特にDX人財はジョブ型の思想のもとで処遇をしていく必要があるため、世間相場なども意識しながらインセンティブにドライブがかかるような処遇のあり方について考えていきたい。